



北東中だより

甲府市立北東中学校
令和6年10月11日
文責：校長 石原三正
NO. 8 (10月特別号)

本校の学習状況と課題

～全国学力・学習状況調査の結果から～

令和6年4月18日(木)、全国一斉に中学3年生を対象とした『全国学力学習状況調査』が実施されました。このほど、本校における学習状況の分析結果がまとまりましたので、保護者及び地域の皆様にご報告いたします。

【調査内容及び目的】

「教科に関する調査(国語・数学)」と「学習環境や生活に関する質問紙調査」の2種類からなっており、「教科に関する調査」は、「(ア)身につけておくべき知識・技能等」と「(イ)知識・技能等を活用・実践・評価等する力」に関する問題が一体的に出題されました。

この調査結果を基に、本校生徒の学力や学習状況を分析・把握し、各教科における成果や課題、生活状況の実態等を明らかにすることで今後の指導の改善に役立てることを目的としています。

分析結果の概要

1 本校の状況

本校は、国語・数学の2教科とも、山梨県及び全国平均を上回っており、良好な結果でした。

項目別では各教科、領域ごとに分析すると課題もあり、その課題の改善すべき点・改善方法等を考察し、授業内において克服に向けた取組を行っていきます。

| | 国語 | 数学 |
|-----|------|------|
| 山梨県 | 58 | 51 |
| 全国 | 58.1 | 52.5 |

※上記の表は、全国平均と山梨県平均を比較した表です。

注)山梨県の平均点は整数表示になっています。

2 本校の主な課題

<国語>

- ▼文章の中で話題となっている事柄を捉え、情報と自身の考えを結びつけながらまとめることに課題が見られる。
- ▼古典文学の文章において、古語や人物の描写をもとに内容や展開を捉えることに課題が見られる。

<数学>

- ▼数と式の領域において、等式を目的に応じて変形することに課題が見られる。
- ▼データの活用の領域において、身近な事象の起こりやすさを求めることに関する理解に課題が見られる。

3 教科における主な改善点

〔国語〕

- 視点を明確にした上で自分の考え・意見を持ち、それを表現する場面を多く設定する。
- 古典文学や和歌に親しむ時間を確保し、登場人物の心情や情景描写を区別しながら読む場面を多く設定する。

〔数学〕

- 数と式の領域において、等式を変形する方法を説明する場面を設定することで、等式の変形に関する技能及び表現力を培う機会を充実させる。
- データの活用の領域においては、身近な事象の起こりやすさを求められることの良さを感じられるよう、具体的な問題場面を設定し、解決の過程を振り返るような活動を展開する。

「学習環境や生活に関する質問紙調査」の分析結果の概要

■肯定的回答が非常に高い(90%以上)質問項目

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- 自分には良いところがあると思いますか
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人に役に立つ人間になりたいと思いますか
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

■肯定的回答が高い(85%以上)質問項目

- 健康に過ごすために授業で学習したことや保健室の先生に教えられたことを普段の生活に役立てていますか
- 学校に行くのは楽しいと思いますか
- 友達関係に満足していますか
- わからないことや、詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することはできていますか

■【学習面で】肯定的回答が非常に高い(90%以上)質問項目

- 1, 2年生の時の学習のなかで、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、わからないことがあった時にすぐに調べることができますか
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか
- 授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- 総合的な学習の時間では、自分で課題をたてて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- あなたの学級では学級生活をより良くするために、学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして、解決方法を決めていますか
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか
- 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

■【学習面で】肯定的回答が高い（85%以上）質問項目

- 1、2年生の時の学習のなかで、PC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよくわかりますか。友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなりますか
- 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか
- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- 数学の勉強は大切だと思いますか
- 1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

4 本校の主な課題

質問紙調査からうかがわれる課題については、次の2点が挙げられます。

(1) 活字による（活字を読んで）情報収集に費やす時間が少ない

タブレットが導入され、上手に活用する生徒が増えてきたが、「新聞を読んでいますか」という質問に対し、ほとんど、または全く読まない74%と、否定的な回答をしている。また、「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか」という質問に対して、家でゲーム92%、勉強・読書63%という回答となっている。

聞いて理解する、判断する、見て理解する、判断することは、得意であるが、活字を読んで理解する、判断することは、苦手としている。

また、生徒が持っている情報は、主としてインターネットによる比較的浅いものであり、「視野を広くする」、「深く学ぶ」「様々な情報から判断する」ことにはつながっていない。

(2) 地域の活動への参加の機会が少ない

日頃から、生徒との会話からも、家族とのつながりが良く、家庭環境も良好であることが伝わってくる。そのような中で、「放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか」という質問に対し、地域の活動3%という回答である。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対しては、80%以上が当てはまるという肯定的な回答である。また、学校で行っている地域の清掃活動である「北口清掃」には、多くの生徒が参加している状況である。地域とかかわる機会が少なくなっていることもあるが、積極的にいかかわろうという気持ちがあっても、行動に移すことが出来ていない状況があるのであろう。

学校としての今後の取組

これまでの分析を踏まえ、今後の取組について以下のように改善を図ります。

- ①基礎的・基本的な学習内容について、小テストやワーク、ICT機器などを活用して反復学習を行い、定着を図ると共に、自主的・計画的な家庭学習を習慣づける。
- ②活字の資料とITC機器等の上手な活用（個別最適な学び）、及び他者の意見・考えに触れる機会（協働的な学び）の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」につながるような授業作りをする。
- ③現在行っている「めあて」（授業の見通しを持つ）、「まとめ」（授業の振り返りをする）を定着させ、何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を学んだのかが明確な授業を工夫する。
- ④一人一人がお互いに尊重し合い、個性を認め合うことで、共に成長していくことのできる集団づくりや心の居場所づくりに努める。
- ⑤家庭や地域とのつながりを大切に、それらの良さを生かしながら生活を送れるように、家庭や地域と学校の連携を図る。